未来への地図

―建設会社が提案営業に使える税知識―

まとめ

税法改正を頭に

定率減税の廃止等

この連載の最後に建設業者が営業をする上での注意点他について、いくつか記載します。

1　税法は改正される

12回にわたって税の概略を解説してきましたが、税法は改正されることをくれぐれも忘れてはいけません。昨今の税収不足から課税の引き上げや、課税ベースの拡大が種々の税目から行われようとしております。現時点においても、個人に対する定率減税の廃止や住宅借入金等特別控除の段階的引き下げ、また、相続税についても、具体的には提示されていないものの、課税ベースの拡大が検討されようとしております。その中で営業をする場合においては、古い税知識が全く使えない場合も今後予想されるとも言えます。よって、税はつねに改正されることを忘れてはいけないと言えます。

甲南総合会計 税理士　徳留 利幸

2　自信のない事は専門家に確認を

複雑な事案に対しては、専門家のアドバイスを受けることも大切です。特に、建設業に関しては、取り扱う金額も大きく、また、登記などの法的手続きをとることもあります。時々見受けられるのは、安易な判断で、登記をしてしまって、その後に贈与税などの税金が課税されることが分かり、錯誤により登記をし直すと言ったケースがあります。その場合に登記費用などは、無駄な支出となったり、あるいは、その費用を負担させられたりしますので、事を起こす前に専門家のアドバイスがあれば、十分対処できることもありえます。

3　その他

建設業者の場合には、公共事業の受注を受ける際に建設業者自体の経営能力を判断（いわゆる経審）されます。経審は点数で判断されますが、その判断基準としては、企業自体の体力測定と同じと考えて良いかと思います。企業の体力とは、その企業の経営基盤がしっかりしているか、あるいは、技術が高いか、経理能力が高いかなどのさまざまな要素で判断されます。細かい内容は別として、企業の長年の蓄積が大きく影響すると言えます。よって、長期的な視野にたった、健全経営を目指せば、おのずとその評価は高まると言えますので、経営者自身もしっかりとした、展望を踏まえて経営をすることが必要です。

また、経営上大切なことはしっかりとした、原価管理が大切と言えます。つまり、個々の受注について、利益の確保ができているかを把握し、なおかつ、原価以外の固定的な経費も、個々の受注から生ずる利益により負担されることを踏まえて、経営に従事することが大切です。

（終わり）

工事希望すべてで内訳書提出

指名競争も拡大

国交省

国土交通省は、工事費内訳書提出の対象工事を17年2月1日から拡大する。これまで発注案件の半分で試行していた「工事希望型指名競争入札」について、すべての案件を対象とする（本格実施）もの。合わせて、通常指名競争入札も、従来の「2割程度」から、「2割程度以上」に改め、内訳書の提出対象を増やす。

直轄工事では、入札参加者の適正な見積もりを促すとともに、談合などの不正行為を排除するために、入札時に工事費内訳書を提出させている。

これまで一般競争と公募型指名競争のすべて、工事希望型指名競争の5割、通常指名競争の2割程度を対象としてきた。

今回の措置では、2月1日以降に資料送付を行う工事希望型指名競争について、すべてを内訳書提出の対象とする。

15年度実績では、年間1839件の工事希望型指名競争入札が行われており、今回の措置で大幅に内訳書提出の対象が増えることになる。

また、現在全体の2割程度で試行している通常指名競争入札についても、今後は2割程度以上とし、各事務所などの取り組みを促す。内訳書の提出形式については、提出を求める場合の半分を、数量や単価などのみを求める「簡易型」に、残り半分を「詳細型」とする。

12月22日付で各地方整備局などに通知済み。各都道府県などにも参考通知した。

厚労省、16年度安全優良職長

本県から坂之上氏（鮎川建設）

厚生労働省は、16年度の安全優良職長を決めた。建設業関係者は92人。このうち、本県からは坂之上一則氏（鮎川建設㈱）が選ばれた。同省は17年1月13日に庁舎講堂で顕彰式典を行い、衛藤晟一副大臣が優良職長に顕彰状と徽章を手渡す。

この顕彰制度は、高い安全意識を持って、適切な安全指導を実践してきた職長を顕彰し、被顕彰者の企業（事業所）内での評価を高め、職長を核として事業場の安全活動を活性化させることが目的。今回で7回目の顕彰となる。

安全優良職長に選ばれるためには、職長としての実務経験が10年以上で、職長として担当した現場または部署で過去5年以上、休業4日以上の災害が発生していないことなどの顕彰基準をクリアする必要がある。

帝国データ 11月の建設業倒産

前年同月比 23カ月連続マイナス

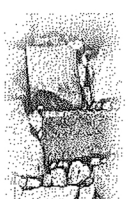
帝国データバンクが14日に発表した全国企業倒産集計によると、11月の建設業者の倒産は323件で、前年同月より1・5%減少、23カ月連続の前年同月比マイナスとなった。負債総額は909億5200万円。

11月の建設業の倒産を主因別に見ると、販売不振が232件で最も多く、次いで放漫経営25件、業界不振23件、売掛金回収難15件などだった。

資本金別では、1000万円以上5000万円未満が最も多く164件。これに100万円以上1000万円未満117件、個人経営33件が続いた。

任意整理が28カ月連続して前年同月比減少となるなど、不渡りによる倒産の減少が続いている一方で、清算型の法的処理（破産、特別清算）が全体の約4割近くを占める高水準で推移している。

あきらめたら、あかん



礎 ～いしずえ～ 79

長引く不況の中、中小企業経営者の訃報を聞く。上場企業の経営者でない限りほとんどの経営者が自宅を担保に入れ会社の資金繰りを行っている。家族を守り、社員を守り、債権者に少しでも返済ができるように生命保険と引き換えに尊い命が絶たれる。しかし命を絶つことは許されることではない。経営者が死ぬ気で仕事をしなくては社員も取引先もついてこない。倒産は経営者があきらめた時始まる。あきらめたら、あかん。

（東京経済編）

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴 夕方から曇	北のち北西	10% 10%
大隅	晴夜曇	西	0% 0%
種子屋久	曇	北西初めやや強く	20% 20%
奄美	曇夜遅く雨	北のち北東	20% 20%

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

鹿児島・種子・屋久地方					奄美地方		
日	曜	天気	降水確率	気温	天気	降水確率	気温
29	水	後	70%	13° 5°	後	70%	18° 13°
30	木	時々	30%	15° 5°		40%	20° 13°
31	金	一時	60%	13° 9°	一時	60%	17° 14°
1	土		40%	11° 4°		40%	16° 10°
2	日	時々	30%	13° 3°		40%	17° 10°

《概況》向こう一週間は、期間の中頃まで低気圧や寒気の影響で曇りや雨の降る日がある。

行政動静

12月28日（火）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事……在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……庁外
- 柴田副所長……在庁
- 赤星副所長……在庁

【川内川河川事務所】
- 所長……庁外

【大隅河川国道事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……庁外

【志布志港湾事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。